

2003年

9月号

平成15年8月25日発行
通巻57号

市民プロデューサーを知っていますか？

市民プロデューサーの仕事は、みえ市民活動ボランティアセンターの基幹業務にあたります。ここを訪れる方が気持ちよく過ごせるために日々努力を惜しみません。企画を立てるには普段からの気配りや情報収集等地道な仕事が大変だったりします。

なにかしたいなあと考えている方、なにかするために？というこつを聞きにきませんか？

脇田智恵

センターに置いてある6紙の朝・夕刊を毎日こまめにチェックしてNPO関連の記事を切り抜き、閲覧用にスクラップするのも市民プロデューサーの仕事(スクラップは図書コーナーに置いてあります。是非ご活用ください!)。最近の紙面に「NPO」という文字が登場しない日はありません。何かと物騒な事件や将来に不安を覚えるニュースが多い中、毎日あちらこちらで草の根の活動を展開している市民の皆さんの話題は、まるで紙面のオアシスのよう。黒インクの文字で埋めつくされた紙面に、瑞々しく潤いのある空間を与えています。

今年の春から市民プロデューサーに仲間入りしたばかり。フィールドや分野が違えども、市民活動に汗を流す仲間同士が交流し、意見交換をし、そして切磋琢磨しあって、それぞれが持つ「経験」という生きたデータを共有できるような活力あるセンターのしくみ、雰囲気づくりのお手伝いができたらいいなと、微力ながらも大きな夢を持っています。センターで見かけたら、気軽にお声をかけてくださいね。どうぞよろしくお祈りします。

土井内
静代

こんにちは、市民プロデューサーの土井内静代です。“どうち”って読みます。こちらのセンターには今年の4月からお世話になっています。それまではボランティアもNPOもまったく関係のない生活をしていましたので、見るもの、聞くもの、なんですか?の状態が始まったのですが、センターにやってくる学生達と同じ年頃の我が子達もようやく手がからなくなりましたこと、今度は自分がまたまた勉強です。勉強不足で申し訳ないなと思いつつ頑張ってます。

また、図書を担当させてもらっていますので、早く整理を終らせて、皆さんがNPOの事を調べやすく、しっかり利用してもらえるコーナーに変身させたいと日々努力中です。よろしくお祈りします。

◆発行◆

514-0009

津市羽所町 700 番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

TEL.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

NPOチームのホームページ

<http://www1.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階) / オールウェイズ(津センターバレス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4) / 鳥羽NPOネットワークセンター(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内) / 四日市市民活動センター(四日市市鶴町4-17) / アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考案みなと(四日市市川原町26-13) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 上野市中央公民館 / 上野市立図書館 / 上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀・LAN事務所 / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上9-4-5) / 松坂大学(松坂市久保町184-6)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松坂、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県女性センター / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体 (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地(平成15年7月16日~平成15年8月15日申請分)
(1)三重県マンション管理組合連合会(2)野田耕治(3)四日市市大宮町26番27号/(1)つづじ(2)森田あき子(3)津市大字垂水887番地14/(1)いなべフットボールクラブ(2)小林平秋・水谷俊郎(3)員弁郡東員町大字鳥取1308番地の1/(1)みえ治験医療ネット(2)坂倉康夫(3)津市広明町250番地16

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)(平成15年7月16日~平成15年8月15日届出分)
特定非営利活動法人 ボランティア千姫(平成15年6月26日) / 特定非営利活動法人 くわな子どもネット(平成15年7月1日) / 特定非営利活動法人 フリースペースめだかの学校(平成15年7月3日) / 特定非営利活動法人 植えるComeかわしま(平成15年7月11日) / 特定非営利活動法人 ライフアカデミー(平成15年7月29日) / 特定非営利活動法人 ケアプランセンターあすか(平成15年7月31日) / 特定非営利活動法人 笹川学童保育会(平成15年8月1日)

ボランティアコーディネーターってなんだ?? (3) 野村希代

7月から、ボランティアコーディネーター研修会が始まりました。全4回にわたる研修会で、社協職員だけでなく、社会福祉施設職員、NPOのコーディネーターなどさまざまな立場の方にご参加いただいています。

第1回目は、京都光華女子大学講師の石井祐理子さんをお招きし、ボランティアコーディネーター概論(講義)とボランティア活動のプログラムを考えるという内容で行いました。その講義の中で私も普段から心がけていることについて話がありました。それは、ボランティアを「ボランティアさん」と呼ばないこと。ボランティアは、そもそも個人の思いから始まるもので、コーディネーターにとってボランティアは社会や地域のニーズを満たしてくれる「お客様」ではなく、ともに課題を解決していくためのパートナーだからです。コーディネーターのみなさん、ボランティア活動をしているみなさん、お互いに同じ目的を持ったパートナーとしてがんばっていきましょうね。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

イベントスケジュール

こものクラフト祭り2003

- とき／8月30・31日(土・日)AM10:00～PM5:00(荒天時9月6・7日)
- ところ／三重県民の森(菟野町)「集いの広場」
- 参加費／無料
- 内容／夏休みの終わりにすてきな思い出をつくりませんか?この祭りを通じて、人と人、人と自然の関係がより良い形に結ばれることをめざしています。当日プログラムは手づくり作品の展示・販売、音楽演奏、気球に乗ろう(31日のみ)、ワークショップ、三重大学サンガ先生を囲んでのフォーラムなどがあります。
- 主催・問い合わせ先／こものクラフト祭り実行委員会
Tel.&Fax.0593-96-0663 E-mail zvm0324@nifty.ne.jp
ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/komono-krafto-maturi/>

県民講座：UDのまちづくりシリーズ「交通のUD」

- とき／9月6日(土)PM1:30～PM4:30
- ところ／松阪市産業振興センター3階研修ホール(松阪市本町2176) ●参加費／無料
- 内容／三重県では、障害の有無や年齢、国籍などにかかわらず、だれもが自由に社会参加できるまちづくり=ユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。いろいろな分野におけるユニバーサルデザインのまちづくりについて、県民の皆さんと一緒に考えるこの講座に、ぜひ、ご参加ください。今回は東京立大学大学院 都市科学研究科教授、秋山哲男さんに「交通のユニバーサルデザイン～だれもが自由に移動できるまちを考える～」と題し、高齢の人、障害のある人、子育て中の人など、だれもが移動しやすい交通とまちづくりについて、講演いただきます。
- 申込方法／郵送、Fax、電話、E-mailで申込。三重県電子申請・届出システム(<http://www.shinsei.pref.mie.jp/>)からも申込みできます。この場合は9月1日が締切です。
- 申込・問い合わせ先／514-8570(住所記載不要) 津市広明町13 三重県健康福祉部ユニバーサルデザインチーム
Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2340
E-mail ud@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/ud/hp/>

三重子育て支援スタッフ研修会 in 尾鷲

- とき／9月7日(日)PM1:00～PM4:30
- ところ／尾鷲市民文化会館セギヤマ小ホール
- ※バス集合場所は津と松阪です。詳しくはお問い合わせを。
- 参加費／現地参加1000円 バス利用2000円
- 内容／NPO法人みえ親子・人間関係研究会では、平成15年度三重県青少年健全育成・協働連携促進事業として三重県より委託を受け子育て支援に関わる人々の相談能力向上のための研修会を催します。日常に役立つカウンセリングの体験学習を体得してください。
- 募集人数／現地30人、バス利用30人
- 申込・問い合わせ先／NPO法人みえ親子・人間関係研究会
Tel.&Fax.059-246-5562 059-227-4619

子育てサロン「カフェまんなか」(月1回)

- とき／9月9日(火)AM10:00～正午
- ところ／なや学習センター
- 内容／四日市まんなか子ども劇場は、子どもたちが子ども時代を豊かに過ごせるように異年齢集団の中で様々な体験を積み重ねられる場をつくっています。また、月1回、小さな子どもを持つおかあさんが、子どもを抱えてひとりで孤独な子育てをしないで済むようにベテランおかあさんとホッとできる場をつくりました。
- 問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670(開局日 火～土曜 AM10:00～PM5:00)
E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp



三重県教育委員会地域活動支援事業 「世界の子どもたちをまもりたい」 マンドリンオーケストラコンサート

- とき／9月13日(土)PM1:30開演
- ところ／四日市市文化会館第2ホール
- 参加費／500円(全席自由、当日正午より座席券配布)
- 内容／子どもの「人身売買」の根絶を目指して…私たちは「物」じゃない!ユニセフでは「子ども保護」の中で、「人身売買」問題の解決と防止に向けての努力を行っています。その支援の一環として、四日市商業高校ギターマンドリン部卒業生によるコンサートを開催します。当日は麻薬・人身売買の最前線、危険一杯の中で頑張る子どもたち応援キャンペーンを同時開催。タイ・山岳少数民族少女民芸作品を展示即売します。なお、売上金のすべてはタイ・山岳少数民族少女支援のために使われます。
- 申込方法／予め座席の確保を希望される方は郵便振替で下記までご送金ください。当日は払込受領証をご持参ください。
振替口座／00860-8-42969
みえ青少年ボランティアネットワーク
- 後援・問い合わせ先／(財)日本ユニセフ協会三重友の会
Tel.&Fax.0593-86-6881
- 主催／NPO法人みえ青少年ボランティアネットワーク

コスモアースコンシャスアクト FM三重クリーン・キャンペーンin町屋海岸

- とき／9月14日(日)AM9:30～AM11:30(雨天決行)
- ところ／津市町屋海岸(津市栗真町屋町、三重大学東側の海岸)
- 参加費／無料・事前申込不要 当日受付による自由参加
- 内容／コスモ石油会社とFM三重をはじめとするJFNがパートナーシップを結び95年より取り組んでいる「コスモアースコンシャスアクト」は地球環境の保護・保全を目的とした活動。今年は津市民の憩いの場、町屋海岸に注目し、そこで清掃活動を行っている町屋百人衆と共同でイベントを行います。当日はFM三重アナウンサーの進行で、フェニックスの植樹、宝探しゲームを織り交ぜた清掃作業のほか、和太鼓ユニット「TSUGUMI」の演奏などを行います。
- 問い合わせ先／町屋百人衆事務局長 Tel.090-3560-6342
FM三重 Tel.059-225-5533(担当:伊藤 AM9:00～PM5:00)
- 主催／コスモ石油、FM三重 ●共催／町屋百人衆

科学フォーラム ～話そう、これからの科学技術と社会～

- とき／9月19日(金)PM1:00開場 PM1:30～PM4:30
- ところ／三重県男女共同参画センター(フレンドみえ) 多目的ホール(津市一身田上津部田1234)
- 参加費／無料
- 内容／科学技術振興センターでは、生活者の皆さんの声を研究に反映させることを目的にみえサイエンス・アカデミー(MSA)を運営しております。このフォーラムではMSA特別顧問である西澤潤一岩手県立大学長による基調講演や、特別顧問、インターネットサイエンスサポーターに知事も加わってのパネルディスカッションを行い、生活者と科学技術との新しい関係づくりについて考えます。パネルディスカッションにおいては、会場にお越しの皆さんからご意見、ご質問などをお伺いする予定です。
- 募集人数／400人 ●応募締切／9月12日(金)
- 申込方法／ホームページ、E-Mail、FAX、ハガキのいずれか。名前(代表者氏名)、連絡先(電話番号かE-mailアドレス)、希望人数、所属の会社・団体・学校名を記入のうえ、送付。
- 問い合わせ先／512-1211 四日市市桜町3690-1 みえサイエンス・アカデミー事務局(三重県科学技術振興センター総合研究企画部内)Tel.0593-29-3620 Fax.0593-29-8017
E-mail msa@mpstpc.pref.mie.jp ホームページ <http://www.msa.pref.mie.jp/topics/forum/notice.htm>

あなたも私もみんなでサーキットコースを 「ふれあいウオーク」

- とき／9月20日(土)受付AM10:00～ 説明AM10:45～(雨天中止)
- ところ／鈴鹿サーキット国際レーシングコース
- 参加費／300円(当日受付) ●応募締切／9月5日
- 内容／車いすの人も、いろんな障害を持つ人も、高齢者もボランティアもみんなが、わいわいふれあいながらサーキットレーシング

コースを歩いてみませんか!この企画は第5回おいん鈴鹿カーニバルの催し物のひとつです。カーニバルチラシを持参いただくとPM1:00~PM3:00まで遊園地入場無料となります。なお、当日ボランティアさんも募集しています。

- 申込方法/Faxか郵送。団体の場合はなるべくまとめてください。
- 申込・問い合わせ先/513-0801 鈴鹿市神戸地子町381-1 鈴鹿市社会福祉協議会(担当:中村) Tel.0593-82-5971 Fax.0593-82-7330
- 主催/鈴鹿市ボランティア連絡協議会、第5回おいんずかカーニバル実行委員会

青春キネマ館 『キューポラのある街』

- とき/9月20・21日(土・日)AM10:00~
- ところ/進富座(伊勢市)
- 参加費/1000円
- 内容/青春キネマ館&キッズシアターとは大人には日本映画黄金時代の作品を、子どもには親子で楽しめるアニメ映画などを映画館で見てもらおうという企画です。今回は『キューポラのある街』を上映します。白いブラウス姿も清楚な吉永小百合に映画館のスクリーンで再会しませんか?
- 主催・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-28-2875(進富座内)

~中・高校生のための防災ワークショップ~ 「やってみよう!防災ウォッチング」

- とき/9月20日(土)PM1:00~PM5:00
- ところ/津市市民活動センター2階会議室1(津センターパレス内) ●参加費/300円
- 内容/遠くない将来に東海・東南海・南海地震がやってくるかもしれません。あなたは心構えをしていますか?津市市民活動センターでは、中・高校生(12~18歳の方)を対象とした防災ワークショップを開催します。阪神・淡路大震災を体験した、日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸さんによる映像をまじえたお話、タウンウォッチング(実際にまちに出て防災に関するポイントをチェックします。クイズつき)、防災マップづくりなど楽しい内容が盛りだくさん。どうぞお友だちと一緒に気軽に参加してください。
- 募集人数/30人 ●応募締切/9月19日(金)
- 申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター事務局 Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

科学技術振興センターテクノカレッジ 「なるほど・なっとくセミナー」

- とき/9月27日(土)PM1:30~PM3:30
- ところ/アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
- 参加費/入場無料。事前予約不要
- 内容/科学技術振興センターの研究者が研究に関する背景や技術について、わかりやすく解説。第1回は「身近な物から科学に親しもう」を主題とし、「昔と今のこんな陶磁器、あんな陶磁器」「野菜やおコメのDNAをみてみよう」「イセエビの不思議」の3つを取り上げて、皆さんに紹介します。なお、本年度は計4回実施の予定です。
- 主催・問い合わせ先/三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究評価グループ Tel.0593-29-3623 Fax.0593-29-8017 ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

歴史街道出合いの広場

- とき/9月27日(土)PM1:30~PM4:30
- ところ/高田青少年会館(津市一身田町2819番地)
- 内容/まちづくり活動を進めると、団体活動のマナー化、新規事業の不足、活動資金の不足などいろいろな問題に出会います。そんな問題も、多くの人といっしょに問題を考えたら、解決できるかも!!当日は京都府立大学人間環境学部助教授、宗田好史さんと長浜まちづくり役場事務局長、山崎弘子さんによる講演の後、歴史街道大雑談



会を開催。歴史的・文化的資産や風情の保全・活用などについておしゃべりするなかで、たくさんの方のヒントを発見するかもしれません。

- 【おぶしよなるつあー】
- 一身田寺内町を一巡り(AM10:00~PM12:30)
- 高田青少年会館に集合し、一身田寺内町案内ボランティアの会の方と寺内町を一巡りした後、高田本山専修寺御影堂平成大修理を見学します。
- 募集人数/75人(参加者多数の場合、抽選)
- 応募締切/9月5日(金)
- 申込方法/氏名・住所・郵便番号・電話番号・FAX番号、Eメールアドレス、所属、おぶしよなるつあー参加希望か、記入の上、に三重県文化振興チームまで、メールで申し込みください。
- 申込・問い合わせ先/三重県生活部文化振興チーム 文化政策グループ(担当:長嶋) Tel.059-224-2646 Fax.059-224-2408 E-mail bunka@pref.mie.jp

連続公開講座 多文化への招待

ともに生きる地域づくりのために

- とき/9月30日~10月21日の毎週火曜日 PM6:30~PM8:00(初日のみPM5:50開場)
- ところ/三重大(総合研究棟Ⅱ1階メディア・ホール)
- 参加費/教材費(2000円程度)
- 内容/地域に暮らす外国籍の人々とともに生きるために、いつかどこかでヒントになることを願って各講師が日ごろ取り組んでいるテーマを中心に話します。
- 【講師】
- 9月30日藤本久司(人文学部)/10月7日別府直苗(教育学部)/10月14日森由紀(留学生センター)/10月21日永田素彦(人文学部)
- 募集人数/先着50人 ●応募締切/9月15日(月・祝)
- 申込先・問い合わせ/514-0113 津市一身田大古曾693-1 三重県人権問題研究所(担当:黒川) Tel.059-233-5525 Fax.059-233-5526 ホームページ <http://www.cis.mie-u.ac.jp/ja/edu/program/koukayikouza.htm> 三重大留学生センター(担当:森) E-mail yuki@cis.mie-u.ac.jp

ネットワークのよびかけ

「食生活」をテーマに

活動していただく団体等を募集します!

- 三重県では、みえの健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」の推進及び、三重県で作成した「みえの食生活指針」を広く県民の皆様に普及啓発していただくため、食生活を切り口とした地域に根ざした健康づくり活動を募集しています。各事業毎に定める活動内容の条件に基づき、県から委託を行います。応募方法や内容の詳細については、住所地の各県民局保健福祉部にご確認ください。
- 募集締切/9月16日(火)
- 対象/食に関する活動を行っている、または、これから行おうとする団体等(一部条件有)
- 活動期間/平成15年10月1日頃~平成16年3月10日
- 活動内容及び委託金額/みえの食生活指針普及活動(上限25万 9団体)例…食生活指針実践事例の講習会など
- 食生活ボランティアイキイキ活動(上限20万 9団体)例…地域での食生活状況調査や食生活改善に関する講習会など
- 問い合わせ先/健康福祉部 健康づくりチーム 地域保健グループ Tel.059-224-2334 Fax.059-224-2340

第5回津市知的障害者生活交流会

- 「ひろがれ友情・ひろがれ仲間」ボランティア大募集!!
- 知的な障害を持つ人たちが、地域であたりまえに生活していく為、より多くの人たちに理解いただき、本人や家族・とりまく人たちの交流・親睦をはかりたいと開催するお祭りです。ハンディを持つ人たちと一緒に祭りを楽しんでもらったり、お店の手伝い、イベントの盛り上げなどなど、お願いすることは一杯です。
- 申込締切/10月30日(木) ●募集人数/約50人
- 【第5回津市知的障害者生活交流会「ひろがれ友情・ひろがれ仲間」】
- とき/11月16日(日)AM10:00~PM2:00
- ところ/津市お城西公園(雨天時…津市社会福祉センター)
- 申込・問い合わせ先/津市知的障害者生活交流会実行委員会

Tel.059-225-3930

●主催/津市手をつなぐ親の会、(社団)日本自閉症協会三重県支部津ブロック

三重県上野森林公園モリメイト大募集

自然をもっと身近に感じられたらいいなって思いませんか?森林公園で何かやってみたいなあって思ったことはありませんか?そう思われた方は、ぜひ「モリメイト」にご登録ください。団体での登録もできます。二つの部会から参加したいものを選んで登録していただきます。重複しての登録もできます。

【企画・運営部会】森林公園で行うイベントなど、来園者が広く楽しめる企画をたて、実施していただきます。たとえば、イベントのプラン作りと実施(自然観察会、クラフト教室、音楽会、動・植物の写真展等)、園内マップ作り、冊子作り、情報発信など

【環境づくり部会】森林公園のよりよい環境づくりのための作業を行っていただきます。たとえば、植物の保護、園内の草刈り、樹木等の名札付け、散策路・花木・森林の世話など

●応募資格/条件に同意していただける18歳以上の方。

●応募方法/登録申請書に必要事項をご記入の上、下記の応募先へ郵送または持参してください。

●申込・問い合わせ先/518-0817 上野市下友生字松ヶ谷1番地 三重県上野森林公園 Tel.0595-22-2150 E-mail muenofp@e-net.or.jp ホームページ http://www.e-net.or.jp/user/muenofp/

MIEC21原稿募集

三重県国際交流連絡会(MIEC21)では、三重県内で国際交流の活動を推進しておられる個人・団体の皆様から活動の状況や会員募集を兼ねたチラシを作成していただき冊子にまとめ、ハートフル2003の会場や提供していただいた方に無料で配布することを計画しています。応募お待ちしております。

●用紙サイズ/A4サイズ・縦横表現自由・モノクロ

●応募締切/9月30日(火) ●申込方法/郵送のみ受付。

●応募・問い合わせ先/514-0065 津市河辺町2488

MIEC21事務局

フリーマーケットin四日市ドーム

●とき/10月26日(日)AM10:00~PM4:00

●ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)

●出店料/アマ(家庭で出た不要品など)

会員3000円・一般3500円

セミプロ(手作り品、おもちゃなどの趣味で集めたもの)

会員5000円・一般5500円

プロ(同品目多数、仕入れ品)会員10000円・一般11000円

2階(出店場所が2階)会員2000円・一般2500円

●注意/(1)1ブースにつき出店者入場券3枚を発行します。1ブース出店で人数が3人以上の場合(小学生以下の子供を除く)には追加入場券(1枚500円)を開催当日に各出入り口で購入して下さい。また、開催当日に会場周辺の出店者駐車場に駐車できるのは1ブースにつき1台とさせていただきます。

(2)発電機の持ち込みはできません。バッテリーは許可しますので、事前に事務局までお申し出下さい。

(3)出店時の高さの制限は2.1mまでとしますが、それ以上で出店を希望される方は特枠(赤ブース4以上が条件)で受け付けますので申込の際にお申し出ください。

●申込・問い合わせ先/510-0071 四日市市西浦1-2-17

三重県フリーマーケット協会(担当:中西大介)

Tel.0593-55-2939 携帯090-5872-0034

Fax.0593-55-2959 E-mail mfa@cty-net.ne.jp

ホームページ http://www.cty-net.ne.jp/~mfa

欲しい人はたくさんいます。

●問い合わせ先/メールマガジン ぴけ

ホームページ http://pike.jp/

みなさんへのお知らせ

【NPOチームからのお知らせ】

お忘れではありませんか?

事業年度を終了した法人は、特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、事業報告書など法定の書類を事業年度の初めの3ヶ月以内に作成し、その後所轄庁への提出義務があります。

既に提出期限を過ぎて未提出の法人が多数見受けられますので、速やかに提出願います。

なお、提出のない場合には、特定非営利活動促進法第49条第5号の規定により、理事、監事又は清算人は、20万円以下の過料の処罰を受けることがありますので、ご留意願います。

助成金 ニュース

三重県 人と人との共生・安全安心のまち形成事業費補助金

●受付期間/9月1日(月)~10月15日(水)

●助成の対象となる団体/団体であればいつでも申請できます。(1団体につき1件の申請に限ります)

●助成の対象となる活動/1.犯罪が発生しにくいまちづくりに関する活動。(パトロールや盗難防止講座の開催、情報誌の発行など)2.原則として2年以上継続して活動する見込みがあること。

●助成の額/1件あたり上限10万円(補助率1/2以内)。20件程度。

●応募方法/申請書をホームページからダウンロードし、問い合わせ先まで、郵送又は持参してください。

●問い合わせ先/三重県生活部経営企画チーム安全安心まちづくりグループ 514-8570 津市広明町13 Tel.059-224-2664

Fax.059-224-3069 E-mail anzen@pref.mie.jp ホームページ

http://www.pref.mie.jp/dkint01/D1SEIKA/top.htm

チャリティプレート助成金

●受付締切/8月29日(金)必着

●助成の対象となる団体/障害者(重複を含む)が通うアクティビティ・センター(自生活センター、グループホームなど)や小規模作業所などで、特に緊急性が明確である団体またはグループ(法人である必要はない)。

●対象事業の期間/単年度事業

●助成の額/1件あたり50万円を限度。

●応募方法/書類の請求・質問などは下記まで。

●問い合わせ先/日本チャリティプレート協会(事務局:豊田) 166-0012 東京都杉並区和田1-5-18 アテナビル2階 Tel.03-3381-4071 Fax.03-3381-2289

日本おもちゃ図書館財団

●受付締切/9月10日(水)必着

●助成の対象となる団体/原則として既設のおもちゃ図書館を運営する団体。

●助成の額/原則として限度30万円。おおむね60団体を予定。

●応募方法/所定の用紙に必要事項を記入し、郵送にて申込。Faxは不可。

●問い合わせ先/(財)日本おもちゃ図書館財団 103-0027 東京都中央区日本橋3-1-2 Tel.03-5255-3060 Fax.03-5255-8482

ザ・ボディショップニッポン基金

●受付締切/9月13日(土)消印有効

●助成の対象となる団体/助成対象となる活動を継続的にを行っている団体または個人。

●助成の対象となる活動/(1)人権擁護にかかわる活動。

(2)環境保全にかかわる活動。

(3)化粧品、トイレタリー業界における動物実験反対、絶滅の危機に瀕する動物の保護活動など動物保護にかかわる活動。

●応募方法/応募要項、用紙は下記より取り寄せてください。



メールマガジンぴけ・フリフリ王

フリフリ王は無料のうえ、基本的に三重県北勢地方を中心に運営している「メルマガぴけ」の一部コーナーなので、ユーザーはご近所の方ばかり。手から手への受け渡しが可能になるので、遠方に送るのに躊躇するような大きなもの、ペットなどの生き物なども、気軽に出品できます。学校の制服や学校指定用品で不要になったものも、地元だから

●問い合わせ先/ザ・ボディショップニッポン基金事務局
102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル4階
(株)イオンフォレスト
Tel.03-5215-6131 Fax.03-5215-6136
E-mail webmaster@the-body-shop.co.jp
ホームページ <http://www.the-body-shop.co.jp/top.html>

損保ジャパン記念財団

- 受付期間/9月1日(月)~9月16日(火)消印有効
- 助成の対象となる団体/(1)~(3)のすべてを満たしていること。
 - (1)福祉活動を行う団体のうち、主として障害者の在宅福祉活動を行う団体。ただし、加齢に伴う障害者(高齢者)を除く。
 - (2)西日本地区に所在する団体。
 - (3)特定非営利活動法人、社会福祉法人(小規模通所授産施設に限定)の法

人格取得を目指している団体、あるいは、既にそれらの法人格を取得している団体。

- 助成の対象となる活動/障害者・高齢者の主として在宅福祉に関する活動。
- 助成の額/自動車購入費 1件100万円まで(総額1000万円)
- 応募方法/助成申請書は下記までFaxで請求するか、ホームページからダウンロード。郵送で提出。
- 問い合わせ先/(財)損保ジャパン記念財団 160-0022 東京都新宿区新宿3-1-16 Tel.03-5919-0711 Fax.03-5919-0710
ホームページ <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
財団法人 助成財団センター
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

まちのファンクラブ

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑員地区

桑員エコリーグ

桑名・員弁の1市8町で環境の活動をとっている県民局の呼びかけで始まったエコリーグですが、もう5年がたちました。さいしょ40~50人ぐらい集まり、はじめの2年間は手探りで、ワークショップやそれぞれの活動報告をしていましたが、昨年あたりから皆でまとまった活動ができるようになってきました。

今、「家庭ごみの減量、省資源・省エネルギーの推進、生活排水対策、リサイクルの推進、自然保護活動など、環境に関する5つの課題を重点目標に掲げて活動しています。

今年の事業も、年度始めにメンバーがそれぞれやってみようという企画をプレゼンし、

それをみんなで検討して予算づけをして決定しました。

たとえば、ニュースレターの発行は今年で2年目、昨年は4回発行しました。

この地域で環境の活動を考えている人のことやいろんなセクターの環境にかかわる情報を載せています。また、今年からはメーリングリストでメンバーの意見交換をしながら運営しています。昨年、「桑員まるごとエコパーティ」を開催した

ところ110人もの人たちが来てくれたので、今年も今度の3月にエコパーティを企画しています。また、環境学習とか子どものこ

とをやりたいという人たちを集めて、「環境学習を实践したい人のためのワークショップ2003」でスタッフ育成をやらせようという企画をしています。里山調査では、桑員地域の標高200メートルの線を歩き、地域の人たちと話しながら、イノシシや猿の食害について調査し、植林山で手つかずのところなども見てまわり、この地域の奥山がどんな状況になっているか、写真を使ってみなさんに報告できればと思っています。

こんな活動をしているエコリーグですが、みんな自分のやってみようという感じをこの会を通じてやっていると感じます。エコリーグにはいってほしいよってやってみようという方は事務局まで是非ご連絡ください。

- 桑員エコリーグの問い合わせ先
511-8567 桑名市中央町5-71
北勢県民局企画調整部内
Tel.0594-24-3600 E-mail wkikaku@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.miesc.ne.jp/souin-eco/>



今年7月のエコリーグ交流会の様子。

北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美
510-0033 四日市市川原町26-13
Tel.0593-31-0713 Fax.0593-31-0719

なや学習センターの工学演習室

四日市市にあります「なや学習センターの工学演習室」が先頃より有料で利用できるようになりました。いままでは、市の委託事業などでしか使えなかったのが、下記のような団体・グループなどが利用が可能になり、だいぶ便利になったな一という感じです。

(1)情報リテラシーの向上・IT基礎技術の習得などを目的とする団体・グループのコンピュータ講習での利用。

(2)団体・グループのインターネット情報検索・文書印刷などでの利用。

ただし、四日市市なや学習センター条例第3条第2項(公序良俗違反、施設の管理上問題がある、もっぱら営利を目的としている)などに該当する場合は使用できません。

パソコン21台、レーザープリンター1台、インクジェットプリンター4台、プロジェクターなどが備え付けられています。用紙、インクなど自分で用意しなければならないものもあります。また、有料であり、ランクによって使用料が分かれています。くわしいことは、

四日市市教育委員会 生涯学習課 振興係へお問い合わせください。

Tel.0593-54-8238

E-mail shougaku@city.yokkaichi.mie.jp

なや学習センターのある所は、四日市市民活動センターのある所でもあります。

(四日市市民活動センターを「地域づくり考房 みなと」が四日市市より受託、運営・管理をしております)ここは、元納屋小学校だったところで、廃校に伴い市民の皆さんが施設利用できる様改修されました。中心市街地からは、ちょっと離れていますが、JR四日市駅がすぐ近くです。駐車設備もあるので、だんだん利用が盛んになってきました。

工学演習室が利用できるようになり、また使い方も広がっていくことだろうと思います。

先日、日本NPO学会・公益法人研究会IN大阪というのが私の母校で開催され、なんか近い気がして出かけました。そこでの話は、PFIとPPPのことでした。新しい建物をつくって、新しい運営方法で、革新的な事業をするのも大事なことだが、昔ながらの雰囲気大切に、地域の中で大方の皆さんにわかりやすい方法で人と人のつながりを確実にしていくことも大事だなというのが私の感想です。

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。水琴窟など、音をキーワードにした環境づくりに取り組んでいる西村昌子さんからバトンが渡った高橋正さんは趣味のヨットを通じて学んだ生き方や環境のことを子どもたちに伝える活動をしています。

ヨットを通して自然を学ぶ

……40年来のヨットマンだそうですね。始めたきっかけは？
 会社のヨット部です。当時、会社の寮が四日市市の富田浜海水浴場の前にありまして、ヨット競技の拠点もすぐ近くだったんです。
 ……国体などを目指して競技選手を育てていたのですか？
 私の場合、会社の部員の育成活動はほとんどしていませんでした。入部するなり、キャプテンになったんですが、面白いヨット部にしよう、たくさんの人にヨットを体験してもらおうといういろんなアイデアを次々に出し、実行しました。自分でポンコツ車を買って、蒲郡まで合宿に行ったり、冬場も身体を鍛えるためにスキーに行ったりしました。
 ……会社の枠を越えての活動は？
 20歳代から三重県のヨット連盟理事などを続けていました。あと、県内の高校に女子ヨット部をつくるお手伝いなどもしました。当時、県内には女子ヨット部がなくてね。それで津商業高校にお願いしたんです。つくってもらったからにはということで、つききりて教えましたよ。また、尾鷲工業高校にヨット部をつくるお手伝いもしました。休みの日を費やしましたが、そういう夢のあるお世話って楽しいですね。

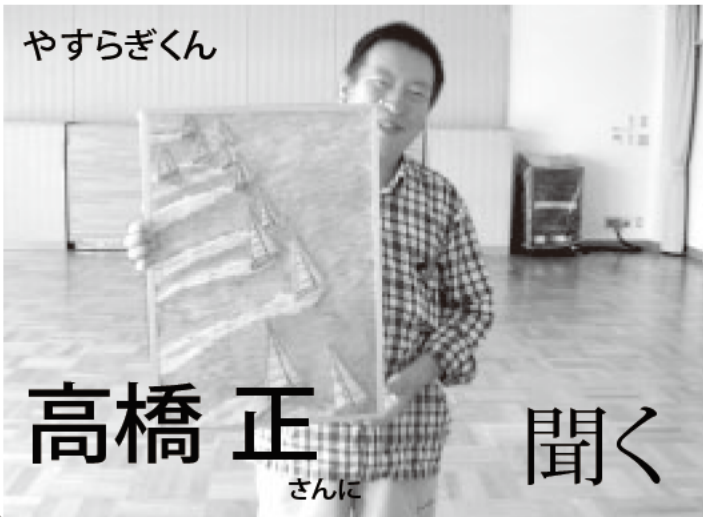
……ヨットの普及活動を通して学んだことも多そうですね。
 例えば公害のことですが、四日市ぜんそくが騒がれる前から、「何かおかしいぞ」ということは感じていました。競技用の小さなヨット(ディンギー)ですから、倒れると乗っている者は水に浸かります。その時に、油ともまた違う、変なぬるぬる感があったりね。ヨットを通して、自然に触れることで、自然とのつきあい方も学んだと思います。

……現在もヨットを続けているのですか？
 理事などの役職は5年前に会社を退職したのと同時に、後輩に譲りました。趣味のヨットは続けていますが、今はヨットを通して学んだことを子どもたちに伝える活動を主にしています。そちらに力を入れたかったので、他の人よりも早く、57歳で退職したんですよ(笑)。

子どもたちに「生きる力」を身につけてもらいたい

……子どもたちに伝えたい、ヨットを通して学んだこととは？
 「生きる力」ですね。それを身につけて欲しいと思っています。危険に出会った時に、どう対処できるか。それが生きる力だと思います。

やすらぎくん



高橋正 聞く
 さんに

今、子どもたちは過保護にされがちですよ。安全な場所に子どもたちを連れて行って、そこから出さないようにしなければ、確かに安心できるでしょう。でも、それでは本人の力はつきませんよね。

……具体的にはどんな活動をされているのですか？
 地元の幼稚園・保育園に働きかけて、川や海、山遊びなどをしています。最近の保育園は保育時間も長いし、いろいろな体験型の企画も取り入れていますね。

……当日、一緒に出かけるのですか？
 それだけでなく、フィールドや企画も提案することから始めました。
 ……どんな遊びをするのですか？
 海なら、ライフジャケットをつけてゴムボートに乗ったり、砂浜から徐々に沖まで歩いて行って、足下を波にさらわれる感触を味わってもらったり。海に慣れてきたら抱き上げて、ボンと海に投げ込んで全然怖がらなくなるんですよ。

……川ではどんな企画を？
 鈴鹿川の上流にあたる御幣川に鮎止めの滝というのがあります。ここは昔、伊勢神宮に鮎を献上していたという歴史的な場所ですが、ツタのからまる木が生い茂っているうえに、岩がぐっと張り出していて、ある程度の深みもある。遊び場に最適の場所なんです。そこをフィールドにして、遊んでいます。

……怖がる子はいませんか？
 先生たちと手を繋ぎながら、川の中を下流からゆっくり歩いていくんですが、おへそが濡れるようになってくるとすごく怖がる子と、そうでない子がはっきり別れてきますね。怖がらない子の中には、慣れてくれば岩の上から飛び込む子も出てきますよ。

……「生きる力」を身につけるための企画などはありますか？
 一番身体に負担をかけずに、長時間浮いていられるのは背泳ぎなんです。それも大の字になって浮く。それができるようになるのを最終的に目指しています。

……いきなり水面に大の字になってと言ってもできないでしょう？
 ライフジャケットをつけて、水面に浮きます。まず先生の顔を見て、次は木の葉っぱを見て、最後には空を見て…というふうに、徐々に視線を上に向けていくんです。できない子たちはしっかり両手を握ってあげて、頭も支えるようにしながら、「上を向いていれば顔の上まで水は来ないよ」と教えます。それができるようになったら片手を離して、「一人で浮いているよ」と声をかけます。

……大の字になれたら次は？
 先生たちに下流に立ってもらって、浮いたまま流れて行きます。水面に浮いていると木漏れ日も見えるし、水も綺麗。途中にも何人が先生がいますから、声をかけたりね。葉っぱが水を流れるのと同じように、自分も流れているんだという感触を体感するんです。

……子どもたちも喜ぶでしょう。
 最初にできた子はめっちゃめっちゃ得意気ですよ。それを見るとほかの子も「自分にもできるかな」と思うんですね。その後は、ライフジャケットを取り替えて着せるのが忙しいくらい。

……全員ができるまで、続けるのですか？
 いろんな理由でできない子もいますから無理にはさせません。技術的なことが向上するよりも、水に慣れてもらうことが大切なんです。
 ……自然遊びのメニューはどこかで習ったのですか？

ヨットの普及のために教室をしていたことや、自分の体験から考えました。私の小さい時の遊び場は櫛田川。櫛田川には灌漑用のダムができて、川の流れや深みなど、構造がまるっきり変わってしまったんですが、そういうことも遊びながら自分たちで覚えていったんです。あと、池でもよく遊びましたね。池は表面と底の水温が激しく違うし、水草も生えていますから危険なんです。だから小さいうちは「河童が出るから行ってはいけない」と言われました。でも高学年になって、自分がガキ大将として小さい子たちも遊びに連れ行くようになったら、おじいさんから「河童は伝説だ。あの辺りには漁師さんの仕掛けがあって、その針や網にかかると溺れてしまうから、そう言ったんだ」と教えてくれて、それと同時に「最悪の場合のことを考えてこれを持っていけ」と、ナイフを渡されました。それに紐をつけて、絶対に落とさないようにしてね。今、ナイフを持っているなんて言ったら社会問題になってしまうかもしれませんけどね。

「やすらぎくん」が開催する「夏の鈴鹿川体験」

……誰もが参加できる活動はありませんか？

私が所属している「やすらぎくん」で、3年前から「夏の鈴鹿川体験」というのを開催しています。

……「やすらぎくん」とは？

正式名称は鈴鹿・亀山生活創造圏ビジョン推進会議と云って、北勢県民局企画調整部鈴鹿経営企画チームが事務局になっています。でもこの名前だと長いでしょ(笑)。

だからみんなで、「やすらぎくん」と名付けました。鈴鹿川流域塾や鈴鹿川流域の水を考える会など、市民が主役で行政や事業者と協働する、5つの活動を総称した名前です。

自然に学ぶ自己責任、つまり生きる力について話しています。

……夏の鈴鹿川体験とはどんな企画ですか？

夏休みの宿題が1日で全部できてしまうというイベントです。鈴鹿川の河口から上流、水中、水上、あらゆる水辺を自然体験学習できるというか、五感で感じてもらえるようないろんな企画を盛り込んでいます。水中昆虫や魚調べ、水質検査、工作などいろいろありますが、一番人気は大人も子どもも喜ぶ魚の塩焼き。鮎なら最高ですよ。川漁師さんに投網を打っていただいたり、モンドリという仕掛けをかけたり工夫して、なんとか捕れるようにしています。もちろん、タモですくったりもしますよ。メインの企画は川歩き。膝くらいの深さまで川の中に入って、河口から上流に向かって歩くんです。

……川歩きのポイントは？

川を見下ろすのではなく、視線を水面まで下げて、そこから見上げる。魚や水中の生き物の気持ちになって見ることで、いろんなものの見方が変わってきますよ。

……それも生きる力に結びつくのですか？

魚の視線になることで、人間が自然を破壊したり、汚したことが見えてくる。それによって自分たちが、何をしなければいけないかを気付かせてくれるんです。それを遊びのなかで体験するんですね。

……幼稚園・保育園の活動も「やすらぎくん」の一環ですか？

幼稚園・保育園での活動や学校の総合学習などは私個人の責任でやっています。この他、個人として三重県環境学習情報センター

の環境サークルみえと、エコ交流会にも参加しています。

……いくつものグループに所属していると忙しいでしょう。

毎日大変ですが、それが自分の生き甲斐ですから。でも打ち合わせなどはメールやファックスを使って、時間を上手に使っています。

地域ぐるみで青少年健全育成に参加

……学校の総合学習にも参加されているのですか？

地元の清和小学校の総合学習と、中学3年生の総合学習に参加しています。幼稚園・保育園の活動もそうですが、地元の学校教育や青少年健全育成に地域の人たちが関わるのが非常に大切だという考えから、始めました。

……まず小学校の活動を教えてください。

他のボランティアの方と年数回、1年生を対象に昔の遊びを教えています。

……どんな遊びがありますか？

お手玉や竹馬、コマ回しなどですね。一度教えに行った後、私が子どもたちへ向けて特大の絵がみを送ったんですよ。そうしたら今度は子どもたちの方から「また教えてください」と、たくさんの手紙が来ました。2年生のクラスでは、朝の読み聞かせボランティアを担当しています。私の場合は本ではなくて、紙芝居。拍子木も用意していくんですが、子どもたちも楽しみにしてくれて、今では拍子木も叩いてくれますよ。紙芝居が終わった後には地域の方言を教えたりもしています。3、4年生は有志のサークル活動として、絵本づくりと一緒にしています。

……中学校ではどのような活動を？

「島国日本と生きる力」というタイトルで50分ほど、話をさせてもらっています。私がこれまで生きてきた中で感じたことや、私の中学生時代の文集などからエピソードを紹介しています。私は温故知新という言葉が大切だと思っています。昔の話の中にはたくさんの教えがありますから、それを子どもたちに話すんです。

……高橋さんの中学生時代はどんな風だったのですか？

私は昭和16年生まれですから、生まれると同時に太平洋戦争が始まっていました。だから中学生時代というのは本当に物が無くて。そのうえ、運動場まで自分たちで竹藪を開墾してつくったんです。時間だけはたくさんあったから、そういう総合体験学習をしていたんですね。当時の担任の先生が文集を「青空教室」と名付けたんですが、まさにそう。青空の下で生きる力を私たちは学んだのです。これは教室で勉強しているだけでは学べないことですよ。私は「習慣は第二の天性なり」というのを座右の銘にしているんですが、この言葉もその文集に書いてありました。自分では気付いていませんでしたけど、その先生から影響を受けていますね。

……その様な話もされるということはテーマは自然に限定されていませんね。

生活態度も含めた、今を生きるという話になっています。自然に学ぶ自己責任、つまり生きる力について話しています。

やすらぎくん事務局(鈴鹿・亀山生活創造圏ビジョン推進会議)

住所/513-1819 鈴鹿市西条5丁目117

E-mail zkikaku@pref.mie.jp Fax.0593-82-9792

高橋 正さんはこの人を紹介します。

出口省吾さん

大安中学の先生として、子どもたちと環境学習やボランティアに、熱心に取り組んでいらっしゃいます。



清和小学校にて。高橋さんが子どもたちに描いた特大絵がみです。



高橋さん手づくりの絵本。朝の読み聞かせでも使います。

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

R100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。